

行動実績報告書(自己PR書)

記入例

区分試験	警察官B(男性)	受験番号	5555	氏名	宮崎 太郎
I 取組課題、テーマ、最終的な成果			II 取組の過程で「特に工夫した点」あるいは「苦労した点」		
番号	最近1～3年の間で、部活動やアルバイト、ボランティア、その他の諸活動において、あなたが特に力を入れて取り組んだことの中で、自分で成果が上がったと思われる取組はどのようなものですか。その取組事例についてお書きください。			左記の取組の中で、「何か特に工夫した点」、「新たに独自の工夫を加えた点」あるいは「なかなかうまくいわずに苦労したがそれを克服したこと」などがありましたか。具体的なエピソードがあればそれについてお書きください。(内容は些細なことでも構いません。)	
1	高校の書道部の部長として、後輩の指導育成に全力を挙げて取り組み、その結果、昨年の宮崎県内の書道作品展で、後輩全員が入選することができたこと。			2年生の部員が理由もなく急に部活動に参加しなくなってしまったので、彼の書道に対する悩みをじっくりと聞き、相談に乗ることによって再び部活動に参加できるように工夫した。	
2	卓球部の副部長として、部員全員をまとめることに力を入れて取り組み、その結果、夏の団体戦で優勝することができたこと。			部活動への熱意を失いかけている後輩がいることで、部全体の雰囲気が悪くなりかけていたが、自分が率先して練習に取り組み、卓球のおもしろさを後輩たちに伝えることで、練習への意欲を引き出し、部全体のレベルアップができた。	
3	アルバイトで家庭教師をしていたとき、教えていた生徒が、どのようしたら成績が上がり、志望校に合格できるかを考えて指導し、結果的には、何とか志望校に合格させることができたこと。			生徒によっては、得意科目、苦手科目が異なるので、その生徒の苦手科目を重点的に指導したり、不安になっている生徒には、自分が勉強がうまくいかなかった時どのようにして克服したかという体験談を話したりするなど、その生徒に合った教え方をするように工夫した。	
取組事例は3つまでとなります。					